あなたの「やってみたい」を応援します!!

ゆめこらぼ通信

第7号
発行
平成22年6月1日
隔月発行

「ゆめこらぼ」は、コラボレーション（協働）によって夢を広げ、夢があふれる空間をめざします
発行：西東京市市民協働推進センター　ゆめこらぼ　〒188-0012　東京都西東京市南町5-6-18　イングビル1階

新年度事業 始まりました

「学童の安心の居場所」考える
第１回　トークサロン

今年度１回目の「トークサロン」は５月28日、「子どもたちの放課後の居場所を考える」をテーマに、当センターのサロンコーナーで開催されました。

市内の女性８人が参加。地元西東京で活躍するＮＰＯ法人子どもアミーゴ西東京代表理事の菊池宇光さん＝**写真中央**＝は、西東京市では学童クラブ数が30あり、約1600人の子どもたちが通っていることなどの現状を説明したうえで、子どもアミーゴ西東京が市から運営受託している４カ所の学童クラブ（北原、谷戸、向台、向台第二）について、その目指すところを熱く語ってくださいました。

例えば、子どもたちのおやつは手作りしていること、指導員の雇用を安定させて保育の質の向上に努めていること…。その思いは参加者に伝わり、「学童クラブの中だけではなく、地域での大人と子どもの関係に広がってほしい」との声も出て、子どもたちを中心にした助け合いのまちづくりを考える機会となったようです。

■６月から旧東大農場でヒマワリ栽培
種まき、迷路、油しぼり　30人募集

昨年、一般開放で４千人余りが訪れるほどの人気を集めた旧東大農場のひまわり迷路。今年も迷路づくりと講義を交え、種まきから苗の間引き・除草、収穫、油搾りまでを体験する事業を実施します。

参加希望者は６月２日（水）から11日（金）までに、往復はがきで申し込んでください（消印有効）。募集人員は大人30人で先着順。子どもと一緒に参加できますが、保育はありません。参加費は無料です。応募資格は原則として市内在住・在勤・在学の方。住所、氏名（ふりがな）、年齢、電話番号を記入のうえ、〒188-0012　西東京市南町５－６－18、西東京市市民協働推進センターゆめこらぼ「ひまわり事業」係へ。

家族連れなどでにぎわったヒマワリ畑の迷路＝昨年8月

東京大学が附属農場などの組織を改編して今年度生まれた生態調和農学機構と西東京市の協働事業です。１回目は６月中旬に種まきと防鳥ネット掛けを予定しています。太陽の光をいっぱいに浴びて土の感触を楽しんでみませんか。

◇

このほか７月には次の事業を予定しています。参加者募集要領など詳細は７月１日発行の広報西東京（市報）をご覧ください。

■ＮＰＯ･市民活動ネットワーク

ＮＰＯ法人パブリックリソースセンター代表理事・久住（くすみ）剛さんの基調講演とともに「市民活動にとって、ネットワークとは」を考えます。

▽７月17日（土）午後２時～４時、イングビル３階会議室

■専門相談員による個別相談

ＮＰＯ法人設立やＮＰＯの組織運営全般（事業戦略、資金調達、人材育成など）について専門家がお答えします（会計の分野は次回11月に予定）。

▽７月23日(金)午後５時～８時▽７月24日(土)午後１時～４時、いずれもイングビル３階会議室

■トークサロン

定年退職前後に市民活動を始めたい方を中心に、団塊世代の方々の地域デビューについて語り合います。

▽７月24日（土）午後７時～８時30分、ゆめこらぼサロンコーナー

団体登録 お待ちしています

今年度新たに3団体、計 34 団体に

4 月に新たに次の３団体がゆめこらぼに登録されたことにより、2010 年度の登録団体は計 34（５月末現在）となりました。連絡先など詳細は職員にお尋ねください（団体側の希望で一部公開できない事項があります）。

▼健康未来わいわいクラブ（明るく、健康で住みよいまちづくり）

▼あすなろNO2（車いすの人と健常者が手をつなぎ、温もりのあるサークル活動を行う）

▼でこぼこ（発達障害を持つ子どもとその家族が共に支えあい成長する）

◇

2009 年度に登録していただいた 31 団体はすべて本年度の継続手続きが終わりました。あらためて団体名と目的をご紹介します。

■子ども■

▼レッジョ教育を広める会@キオッチョラ@（イタリア・レッジョエミリア市で行われている幼児教育の普及、子ども文化・芸術活動の支援）**▼西東京子育てコム**（妊娠および子育て中の母親向けイベント開催と情報発信）**▼NPO法人子どもアミーゴ西東京**（子どもの権利を保障し安全安心に暮らせる社会の実現を目指す。四つの学童クラブを市から受託して運営）**▼子どもげきじょう西東京**（子どものための優れた舞台芸術の鑑賞と自主活動を通して子どもたちの友情、自主性、感性をはぐくみ、大人も一緒に育ち合う）

■環境■

▼西東京自然を見つめる会（自然と親しみ自然環境の保護活動）**▼NPO法人西東京花の会**（公共用地に花苗を植え継続管理）**▼西東京菜の花エコ・プロジェクト**（菜の花を資源とし観光・環境学習・加工などによるコミュニティーづくり）**▼環境まちづくりNPOエコメッセ エコメッセ西東京**（環境に負荷をかけないまちづくり）**▼ごみ資源化市民会議**（生活者の立場からごみ減量化・資源化に取り組み、省エネ生活への転換を目指す）**▼キラキラ西東京**（地球温暖化防止など環境問題を市民レベルで考え、文化活動など多様な市民活動を進める）**▼東大農場・演習林の存続を願う会**（動植物観察会などを通して農場・演習林の存在と価値を多くの市民に知ってもらい、環境学習へと活動範囲を広げる）**▼西東京ガーデニングクラブ**（田無駅周辺の公共施設や場所に花の苗を植え管理することで、癒やしのあるまちづくりを進める）**▼NPO法人匠リニューアル技術支援協会**（建築技術者の地位向上と共同住宅などに住む人の保護を図る活動を通して、安全で快適なまちづくりを目指す）

■福祉■

▼ばんびの会（知的障がい児・者の遊び、集団、経験をサポート）**▼西東京市福祉推進協議会**（市の福祉の向上と推進を願う人たちが手をつなぎ、地域福祉の充実に向け努力する）

■健康■

▼まちかど保健室（子育て、学習、就学児童、ニート、高齢者を支援）**▼NPO法人ヒューマンプランニング**（スポーツやリハビリ目的の教室開催やプログラム構築、関連用具・器具の研究開発などを行うことで福祉・健康の増進、スポーツ振興に寄与する）**▼キッズタウンなちゅらるサロン**（人にも環境にもやさしい生活を考え実践してみる。またそのような情報を共有する）**▼AFQ友の会**（今世紀の人々の生活環境を守るコンセプト「AFQ」を活用して社会貢献のあり方を考える）**▼西東京スクエアダンスクラブ**（スクエアダンスを通して、年齢・性別にかかわらず仲間としてのつながりを持ち、心身とも健康な生活を目指す）

■文化・芸術・趣味■

▼女声合唱団コールハーモニー木精（コーラス技術の向上と親ぼく、地域貢献）**▼ウインズパストラーレ**（多摩6都の音楽交流と演奏技術の向上、地域貢献）**▼ダンスサークル M's POWER & K's POWER**（ダンスを通して子どもたちの成長を願い、ボランティア活動を通して地域とのつながりをつくり、市の活性化に貢献したい）

■国際交流■

▼NPO法人西東京市多文化共生センター（市民の国際理解を深め外国人を支援）**▼NPO法人世界の子どもたちに暖かいセーターを送る会**（家庭などに眠る毛糸を活用し世界各地の困っている子どもたちへ送る）**▼フロムジャパン多摩**（和風小物・着物のリサイクルを通じ、国内外の日本ファンを育成し、多摩の地域活性化につなげる）

■まちづくり■

▼NPO法人プラス・ド・西東京（オフィスなどの貸し出し、セミナー企画、ニュース発行などで市民活動を支援）**▼NPO法人西東京NPO推進センター〔セプロス〕**（市内NPOの支援と独自活動としてまちづくり、福祉、情報化推進を目指す）**▼まちづくり研究会**（今も 100 年先も楽しく暮らせるまちづくりに関する活動を行う）

■教育■

▼NPO法人 稲門寺子屋西東京（費用無料の寺子屋で、報酬ゼロで子どもたちの学習の相談や学校授業の補習程度の指導を行う）

■シニアライフ■

▼きらっとシニア倶楽部（シニア向け地域情報紙の発行）

◇

センターへの団体登録はとっても簡単。これから活動を始めようという方には、会則の見本などをお見せして、団体立ち上げの支援をします。登録団体同士の情報交換・ネットワーキングのお手伝いもします。

□**登録すると**　メールボックスが使えます！（無料。郵便物の受取先にできます）サロンコーナーと印刷機の利用予約ができます！

サロンコーナー

メールボックス

印刷機

□**資格**　市内で市民活動をしている団体、またはこれから始めたい団体（構成員２人以上）。事務局が市内にあるか、主な活動場所が市内にある団体

□**必要なもの**　団体規約または会則

□**申請書**　ゆめこらぼにある所定の用紙に代表者の名前、住所、活動内容などを記入していただきます

助成金ゲット作戦！

上

新しい事業に取り組んだり活動の幅を広げたりしたいのに資金が足りない。そんなとき頼りになるのは財団などの助成金。この１年間で四つの助成金（補助金を含む）をゲットした「西東京子育てコム」の田中のり子さん＝写真＝に「助成金の探し方と申請のコツ」を３回に分けて書いていただきます。

「活動を始めてまだ５年のヒヨッコですが、私の経験が少しでもヒントになれば幸いです」と田中さん。１回目は＜助成金の探し方＞です。

◇

私が助成金を探すときには、主にインターネットを使用します。その中でも、助成金の情報をまとめて見ることができるサイトを中心に見ていきます。良くチェックするサイトをご紹介します。

＊東京ボランティア・市民活動センター（ボラ市民ウェブ）　http://www.tvac.or.jp/

＊全国社会福祉協議会
http://www. shakyo. or.jp/

（福祉のネットワークリンク集の福祉関係団体等ホームページに助成団体一覧があります）

これらのサイトは、助成金が一覧で見られて対象や締め切りも一目でわかり、とても便利です。パソコンの「お気に入り」に入れて、時々チェックするのがおススメです。

他に、検索をして探すこともあります。私の場合は、育児支援活動をしていますので、「子育て」「育児」「地域」「母親」「女性」「子ども」「こども」「子供」などのそれぞれの言葉のあとスペースを入れて「助成金」と入力して検索します。

ここでのポイントは、自分の活動をいかにたくさんの言葉で表現できるかです。高齢者の活動ならば、「高齢者」「介護」「シニア」「シルバー」「健康増進」「いきいき」…など。頭を柔らかくして活動に関連する言葉を見つけてみましょう。

他には、団体のポスターやチラシ、パンフレットで「××財団より助成をいただて作成しています」などの文字があった時には「××財団」を検索してみるなど、常に「助成金」を頭の片隅に置いておくと、心のアンテナが情報をキャッチしやすくなります。

あなたの、お勧めのサイトや助成金の探し方がありましたらぜひ、私にも教えてくださいね。

（田中のり子　noriko.phn@nifty.com）

☆助成金情報☆

（詳しくは各助成団体のホームページをご覧ください）

◆TOTO水環境基金【対象】①地域の水と暮らしの新しい文化の実現に向けた実践活動②地域の水と暮らしの関係についての調査研究活動で、営利を目的としない市民活動団体（法人格の有無・種類は不問）、目的や内容が特定の宗教や政治などに偏っていない団体【助成金額】10件程度で総額約１千万円【応募期限】６月15日【問い合わせ先】ＴＯＴＯ株式会社総務部社会共生グループ・清水さん、曾根﨑さん（電話093・951・2224、ファクス093・951・2718）

◆ニッセイ財団高齢社会助成▼実践的研究【対象】①高齢社会における地域福祉、まちづくりを探求②高齢者の自立・自己実現・社会参加などを探求③認知症高齢者に関する予防からケアまでを探求する研究者と実践家（現場の専門職や行政職など）の協働で、５～８件程度【助成金額】２年で１件当たり200～250万円程度【応募期限】６月15日【問い合わせ先】日本生命財団高齢社会助成事務局（電話06・6204・4013）

◆明治安田生命保険相互会社「愛の声かけ配食運動」市民参加型食事サービス活動助成【対象】「①活動立ち上げ資金」は、近い将来食事サービス事業を始める具体的な計画がある市民参加型を基本とした団体または非営利団体。「②備品購入資金」と「③その他（本助成の目的に沿い、必要性が高いと判断される案件）」は、市民参加型を基本とした食事サービスを行うボランティア団体または非営利団体【助成金額】①は上限15万円②は全国老人給食会会員団体が上限30万円、その他の団体は上限15万円③は全国老人給食会会員団体が上限50万円、その他が上限30万円。助成総額は150万円【応募期限】６月30日【問い合わせ先】全国老人給食協力会事務局（電話03-5426-2547、ファクス03・5426・2548、http://mow.jp）

◆ファイザープログラム～心とからだのヘルスケアに関する市民活動・市民研究支援【対象】①中堅世代（主に30・40・50代）の心身のケアに関する課題②心身のケアを得ることが困難な人々の健康の保障に関する課題③前記各課題の解決に関連した、ヘルスケアを重視した社会の実現に関する課題と取り組む民間の非営利団体や市民が主体的に参加して活動する団体【助成金額】１件当たり上限300万円、総額は３千万円【応募期間】６月７日～6月30日【問い合わせ先】ファイザープログラム事務局・鈴木さん（電話03・5309・7663、ファクス03・5309・9004）

◆みずほ教育福祉財団▼配食用小型電気自動車寄贈事業【対象】原則週１回以上の配食活動を行っているボランティアグループ（東京都社会福祉協議会および西東京市社会福祉協議会の推薦、全国老人給食協力会の会員でかつ同会の推薦が必要）【助成金額】１グループ１台、10グループ程度の見込み。１台は総額110万円を限度とする【応募期限】６月30日【問い合わせ先】みずほ教育福祉財団福祉事業部　藤井さん（電話03・3596・4532、ファクス03・3596・4531）

センター長、FM 西東京で〝素顔〟語る

４月１日着任した西口センター長へのインタビューが同月 29 日、FM 西東京で放送されました。聞き手は市民活動などで知られる「のりピー」こと橋本典子さん＝写真右=。

趣味の読書について聞かれると、本はかばんに３、４冊入れて「並行読み」し、年に百数十冊を読破するという、スタッフも知らない読書家ぶりを披歴。もう一つのウオーキングでは、静岡で農家と出会い売り物にならないストロベリーをいただいた話を伏線に、「これが一期（いちご）一会」と、第３の趣味？の駄じゃれをポツリ。

「自分らしい発信とは」と問われると、「人材バンクとか助っ人情報とか呼ばれている、一芸を持っている人やこんな能力があるよという人と市民をつなぐ場をホームページ上に取り込みたい」との計画を明かしました。市民のみなさんにお気軽に利用していただきたいと力説したのは言うまでもありません。（センター長の略歴と抱負は前号１面に掲載しています）

サロンコーナーでは、お持ちいただいたおにぎり、サンドイッチ程度の軽食や飲み物を召し上がれます。

印　刷　機	製版代	1 製版につき 35 円
	ｲﾝｸ代	100 枚につき 10 円
	※印刷用紙はお持ち込み下さい	
コピー機	1 枚 10 円	
紙折り機	無料	
ラミネーター	無料（フィルムはお持ち込み）	

みんなの本棚
記者クラブ崩壊

上杉　隆 <著>
小学館 101 新書

世界にはない、日本の記者クラブ。新聞やテレビなど大手メディアしか記者クラブに参加できない。フリーのジャーナリストや外国人記者、雑誌、ネット系メディアは事実上締め出されていると、著者は指摘する。

元ニューヨーク・タイムズ記者でもある上杉さんは、健全なジャーナリズムなくして民主主義の発展はないと説き、官僚化した新聞報道、各社ほぼ横並びの報道内容、海外メディアの日本からの撤退、これらの根源はすべて記者クラブにあると、鋭く批判する。

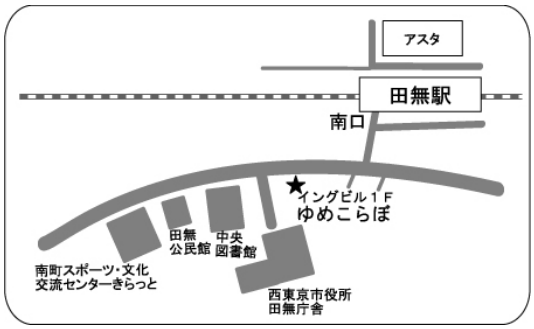
ＮＰＯや市民活動の原点は、市民の多様性を尊重することにあり、その意味でも「一億総洗脳化」しつつあるという上杉さんのマスコミ批判には、耳を傾けたい。

本書は、巨大メディアが死守する「記者クラブ」に風穴を開けようとする、フリージャーナリストの熱き思いと闘いの軌跡を描く。　（西口　徹）

≪ スタッフから ≫

○…140 字以内のつぶやき。テレビ画面の下に見かけるようになったテロップ。日本語でしゃべっているのに余計なお世話と思っていたけれど、最近妙にありがたくて。耳が遠くなってきたせいかしら。状況や目線が変わると、無駄だと思っていたことが大切だったり、その逆だったり…に気づくものですね。　（田中）

○…今春、市内外の施設などを訪ねて歴史を勉強する団体に入会しました。活動は月１回で、それも当センターの休館日の火曜日と願ったりかなったり。たった１日でもうんちくは増えるし、人とのおつきあいも楽しい。その中から地域の課題のようなものも見えてきそうな予感がしています。　（三浦）



開館日：水～月（10時～21時）土・日・祝日オープン
休館日：火曜日（祝日の場合は開館し次の平日に休館）・年末年始
〒188-0012　西東京市南町 5-6-18　イングビル1階
西東京市市民協働推進センター　ゆめこらぼ
Tel: 042-497-6950　　FAX: 042-497-6951
E-mail: yumecollabo@ktd.biglobe.ne.jp
URL: http://nishitokyo.genki365.net/